

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 28 年 12 月 13 日 発行

第 30 号

発行人 校長 鈴木史良

高めよう！ 人権の意識を

—— みんなちがうから、思いやる心と心でつながろう ——

12月9日(金)の6校時に、全校児童生徒による人権集会を開催しました。日本人学校ではこの週を人権週間とし、人権意識を高める活動に取り組みました。子どもたちの委員会活動では、職員室出入口前の廊下に「おもいやりBAUM」を掲示し、友達のよい言葉や行いなど、実際に自分が聞いたり見たりしたことをメモしてその上に貼りました。その数は毎日どんどん増え続け、1つが満杯となり、今では2つ目のバウムも登場しています。友達のよいところを見つける目、よいところを認める目が育ち、お互いを大切に思う心、相手を思いやる心が醸成されていきます。

子どもたちはどんなことを書いたのでしょうか。ごくわずかですが一部を紹介いたします。

☆ Hさんがのりのあるばしょをおしえてくれました。ありがとうございます。

(小2 Rさん)

☆ Tさんが国語の時間のテストで、点数が悪かったときにはげましてくれたので、いいなと思いました。(小4 Sさん)

☆ Rさんが体育の授業の終わりに、縄跳びをかたづけてくれて助かりました。ありがとうございます。(中3 Kさん)

以上のようなあたたかい言葉が80以上も貼られています。ご来校の際には、「おもいやりBAUM」をぜひご覧ください。

さて、人権集会では人権の大切さを考え、自分なりに受けとめた子どもたち一人ひとりから自作の標語が披露されました。どの子どもも大きな声で立派に発表しました。

<人権集会「標語」>

- ・ごめんねと ゆうきをだして いってみよう (小1 Hさん)
- ・やさしいことば たくさんつかって あそぼうよ (小1 Rさん)
- ・わたしはね ボールがあたるといたいけど ちょうせんするとたのしいよ (小1 Hさん)
- ・目をみてね あいさつすると うれしいきもち (小1 Kさん)



おもいやりBAUM (ビフォー)



おもいやりBAUM (アフター)

- ・ありがとう わたしもみんなもいい気もち (小2 Rさん)
- ・はだの色 みんなちがって あたり前 (小3 Sさん)
- ・もっとふえるといいな ユニバーサルデザイン (小4 Tさん)
- ・見た目できめつけず 心でつながろう (小4 Sさん)
- ・みんなとね わらう時間が いちばんさ (小5 Kさん)
- ・あきらめない その心には 意味がある (小6 Kさん)
- ・いいところ 伝えたきみは かっこいい (小6 Sさん)
- ・人権は 自分も他人も もっている (中2 Iさん)
- ・文字だけじゃ ほんとの気持ち 伝わらない (中3 Rさん)
- ・ネットいじめ 気づいてる、わかっているのに言い出せない (中3 Kさん)
- ・その写真 見られていたら 怖いでしょ (中3 Rさん)
- ・スマートフォン 向こうの人を 考えよう (中3 Rさん)
- ・みんなに個性があるように みんな考え違うんだ
だから一緒に認め合おう (中3 Tさん)

一人ひとりの子どもたちが自分なりに「人権」という大きなテーマを捉え、自分の思いや願いを言葉に込めてつくりました。それぞれの標語には、その子が関心をいだいたことがらうまく表現されています。それだけではなく、自分が気づいていなかったことまで教えてくれる作品もあります。それをみんなで発表し合うことで、人権に関わる新たな気づきをたくさん共有することができた集会になりました。



人権集会の様子

中学生の面接練習終わる

受験を控えた中学校3年生を中心に、校内面接指導を2週間かけてそれぞれ2回ずつおこないました。面接官役は校長、教頭です。

放課後の定められた時間、中学生が校長室の前にやって来ます。ドアをノックし、中から返事があると、ドアを開けて入室します。目の前には校長が！ここでひるんではいけません。両手で丁寧にドアを閉めた後、面接官に向かって「失礼します。」と言葉を発して会釈し、面接用のいすの横に立って、「お願いします。」とはっきり言ってから礼をします。日ごろから実践している語先後礼を生かすときです。指示を待っていすに座ります。坐り方も正しい姿勢が要求されます。

不慣れなときは会釈も礼もしっかりできていませんでしたが、練習も2回目となると動きもピタッと決まり、かっこよくなってきます。質問に対する受け答えも、1回目で入っていた「えっと」「まあ」「っとー」という口癖や自分の父や母を「お父さん」「おかあさん」と言ってしまうミスも消え、自分の考えを的確な言葉で面接官に伝えることができるようになってきました。

